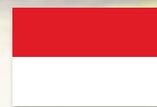


留学から見た、「世界」と「私」

World Journey

ワールド・ジャーニー vol.5 インドネシア編



インドネシア語を深め、積極的に行動し、多文化に触れる。



Mendalami bahasa sekaligus meresapi keragaman budaya secara aktif.

Tantangan dan kepuasan di laut Bali yang indah.

マリナクティビティに挑戦し、美しい海を満喫。

美しい海が広がるバリ島では、マリナクティビティが楽しめます。せっかくの機会だからと、私は現地ですキューバダイビングのライセンスを取得。人気のイルカウォッチングにも行き、100頭以上の野生のイルカが群れをなして歓迎してくれたことが思い出に残っています。



Kemeriahan dan kegembiraan dalam upacara pemakaman Bali.

笑顔で盛大に送り出すバリ島ならではのお葬式。

友人に付き添って、現地のお葬式に参列しました。バリ島には「人間は生まれ変わる」という輪廻転生の思想があり、お葬式は新たな人生の始まり。歌や踊りを披露し、まるでお祭りのように笑顔で賑やかに葬送します。日本と違う文化を体験し、この国への興味がより一層わきました。



Cobalah nasi campur yang enak dan bergizi!

ナシチャンプルは、バリ島版定食メニュー。

お気に入りのローカルフードが、ナシチャンプルです。ご飯を盛ったお皿に、店内に並んだおかずから好きなものを選んでのせることができます。辛い料理が多いけど、野菜が豊富で栄養バランスも抜群。味付けは地域によって違い、この国の文化同様、個性豊かです。



Alangkah indahnya Pura Uluwatu saat matahari terbenam!

美しいサンセットに感動、ウルワツ寺院。



留学中は、バリ島を代表する観光地によく足を運びました。なかでも、美しかったのがウルワツ寺院。インド洋にのぞむ断崖絶壁に建つ、古いお寺です。雄大な海に陽が沈む夕暮れ時がおすす。バリ島ならではの伝統的な踊り、ケチャダンスも鑑賞できます。



バリ島で、今ここでしかできないことにアクティブに挑戦。

半年間バリ島に留学し、言語を徹底的に学習。現地の友人から、教科書だけでは知り得ない、生きた言語を学べたことは貴重な経験になりました。留学中は、今ここでしかできないことにチャレンジ。欧米やアジアのさまざまな国から集まる留学生とともに、バリ舞踊や、その踊りに欠かせない楽器ガムランを現地の人から習い、マリナクティビティにも挑戦。仲間とともにインドネシアのさまざまな地を訪れ、この国の文化の多様性にも触れることができました。外国語を学ぶことは広く世界を知るための行動力を得ることだと、アクティブにいろいろなことを吸収した留学生活を通じて実感しました。

言語学科 インドネシア語専修4年(現アジア言語学科 インドネシア語専攻) 吉村 晴香さん
インドネシア・ウダヤナ大学(認定留学)3年次留学

Professor Voice | 私が思うに、「インドネシア語は世界一簡単な言語」

今まさに経済成長を遂げるインドネシアは、豊かな文化も魅力的。

インドネシアは世界第4位の人口で、今まさに経済成長を遂げている国。今後さらに発展し、中流階級の購買力が高まるなか、アジアの巨大消費地となるでしょう。日本の企業にとっては、ビジネスチャンスにあふれた魅力的な国と言えます。そのため「インドネシア語ができる学生がほしい」と、毎年私のもとへ企業からの求人依頼が絶えません。日本でインドネシア語を体系的に学べる大学は少ないので、マスターすれば就職でも大きなア

ピールポイントになるはず。また私が思うに、インドネシア語は「世界で一番簡単な言語」。過去形がない文法、発音もアルファベットに準ずるため、学びやすいのが特徴です。とりわけ語学を学ぶ面白さは、その国の人や文化を理解することと言えますが、その点でもインドネシアは魅力的。人と人のつながりが深く、人と自然が共存して生きる、豊かな文化や暮らしがあります。一度行くとまた行きたくなる、そんな心温まる国をぜひ体験してほしいと思います。

アジア言語学科 インドネシア語専攻 教授 エディ・プリヨノ

